講義科目名称：　日本語表現法　10-46-10　　　　　　　　　　　　科目コード：19500

英文科目名称：　JapaneseLanguage Technical Writing and Composition

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1年集中	1	2	選択
担当教員			
杉田　玲子			
添付ファイル			

講義概要	日本語でレポート・論文を作成するための論理的な考え方、的確な表現、正しい構造の文、文章の構成、資料の使い方を学ぶ。説明文・論説文を正確に理解するための長文読解解練習や聴解練習を行う。またアクティブラーニング（AL）を通して、「自分の意見を述べる」、「相手の考えを理解する」などのコミュニケーション能力を養う。	
授業計画	1	授業の進め方について ・授業の目的・進め方についてAL①を行う。またレベルチェックのためのテストを実施する。 ・準備学習：テキストを準備し、巻頭部分を読んでおく。 ・課題：文法事項の復習。（AL③）
	2	レポートに使われる文体 ・事実や意見を客観的に述べるための文体について、AL①とAL②を行う ・準備学習：テキスト第Ⅰ部第1課を読み、語彙の意味を確認する。 ・課題：「である体」を使って300字程度の文章を書く。（AL③）
	3	文の基本① ・明快な文章を書くために必要な文法事項について、AL①とAL②を行う。 ・準備学習：テキスト第Ⅰ部第2課を読み、語彙の意味を確認する。 ・課題：確認のための練習問題。（AL③）
	4	文の基本② ・明快な文章を書くための実践的な練習について、AL①とAL②を行う。 ・準備学習：テキスト第Ⅰ部第2課の内容を再度確認する。 ・課題：学習した内容をもとに400字程度の文章を書く。（AL③）
	5	句読点の使い方、句読点以外の記号の使い方 ・文章を書く際の句読点の使い方、記号の使い方についてAL①とAL②を行う。 ・準備学習：テキスト第Ⅰ部第3・4課を読み、語彙の意味を確認する。 ・課題：句読点・各種記号の使い方に注意して400字程度の文を書く。（AL③）
	6	まとめテスト①、引用文 ・第2～5回の学習事項についてまとめテストを行う。基本的な引用の仕方についてAL①とAL②を行う。 ・準備学習：第2～5回を復習しておく。テキスト第Ⅰ部第5課を読み、語彙の意味を確認する。 ・課題：心に残ったことばを引用の形で紹介する文を書く。（AL③）
	7	段落 ・段落の構成と段落相互の関係について、AL①とAL②を行う。 ・準備学習：テキスト第Ⅱ部第1課を読み、語彙の意味を確認する。 ・課題：段落の構成を考えながら、400字程度の文章を書く。（AL③）
	8	仕組みの説明 ・全体的な概要を述べ、次に個々の事柄を説明する文章の仕組みについて、AL①とAL②を行う。 ・準備学習：テキスト第Ⅱ部第2課を読み、語彙の意味を確認する。 ・課題：組織や装置の仕組みについて400字程度で説明する。（AL③）
	9	歴史的な経過の説明 歴史的な経過を述べる文章の書き方について、AL①とAL②を行う。 ・準備学習：テキスト第Ⅱ部第3課を読み、語彙の意味を確認する。 ・課題：社会に普及している技術や仕組みの歴史的な経過について、400字程度で説明する。（AL③）
	10	分類 ・事柄の範疇を示し、全体を体系化するための分類による説明について、AL①とAL②を行う。 ・準備学習：テキスト第Ⅱ部第4課を読み、語彙の意味を確認する。 ・課題：動物・植物・鉱物その他関心がある事物について分類して説明する文章を書く。（AL③）

	11	定義 ・主題に関わる重要語の定義の仕方について、AL①とAL②を行う。 ・準備学習：テキスト第Ⅱ部第5課を読み、語彙の意味を確認する。 ・課題：語彙や事柄を定義する練習問題及び定義を取り入れた説明文を書く。（AL③）
	12	まとめテスト②、長文読解練習 ・第７～11回の学習事項についてまとめテストを行う。長文の内容理解について、AL①とAL②を行う。 ・準備学習：第７～11回を復習しておく。 ・課題：授業で読んだ文について感想や意見を書く。（AL③）
	13	聴解練習 ・中級～上級レベルの長文を聞いて内容を理解するため、AL①とAL②を行う。 ・準備学習：事前に告知する聴解練習のトピックについて調べておく。 ・課題：聴解練習のスクリプトを確認する。（AL③）
	14	前期の復習とスピーチの作成 ・前期学習のまとめとして文体・表現を復習後、スピーチ作成について、AL①とAL②を行う。 ・準備学習：スピーチのテーマや構成について考える。 ・課題：文体や構成に注意し、スピーチを作成する。発表時間5分（800～1000字）程度（AL③）
	15	スピーチの発表 ・スピーチをする際の注意事項（声量・速さ・視線など）について、AL①を行う。 ・準備学習：スピーチを作成する。 ・課題：お互いのスピーチを評価し、疑問点を質問し、気づいたことを指摘する。（AL⑤とAL⑥）
	16	比較・対照 ・比較・対照する文章の書き方について、AL①とAL②を行う。 ・準備学習：テキスト第Ⅱ部第6課を読み、語彙の意味を確認する。 ・課題：電子書籍と紙の本など、関心がある事柄について比較・対照する文を書く。（AL③）
	17	因果関係 ・原因と結果の述べ方について、AL①とAL②を行う。 ・準備学習：テキスト第Ⅱ部第7課を読み、語彙の意味を確認する。 ・課題：温暖化・少子化など関心がある事柄について因果関係を述べる文を書く。（AL③）
	18	意見と根拠 ・自分の意見・主張を述べる際の論理的・客観的根拠の示し方について、AL①とAL②を行う。 ・準備学習：テキスト第Ⅱ部第８課を読み、語彙の意味を確認する。 ・課題：指定するテーマについて賛成及び反対の意見とその根拠を述べる文を書く。（AL③）
	19	資料の利用① ・資料を使った説明、資料の探し方、資料利用上の注意点などについて、AL①とAL②を行う。 ・準備学習：テキスト第Ⅱ部第9課を読み、語彙の意味を確認する。 ・課題：資料の利用についての練習問題。（AL③）
	20	資料の利用② ・表やグラフから数値を読み取り、特徴を説明する文の書き方について、AL①とAL②を行う。 ・準備学習：前回の学習内容の復習。 ・課題：提示されたグラフから読み取れることを書く。（AL③）
	21	まとめテスト③、長文読解練習 ・第16～20回の学習事項についてまとめテストを行う。長文の内容理解について、AL①とAL②を行う。 ・準備学習：第16～20回を復習しておく。 ・課題：授業で読んだ文について感想や意見を書く。（AL③）
	22	レポートにおける引用① ・レポート作成に必要な引用の方法についてAL①とAL②を行う。 ・準備学習：テキスト第Ⅱ部第10課を読み、語彙の意味を確認する。 ・課題：関心がある話題について資料を探して紹介し、出典について説明する文章を書く。（AL③）
	23	レポートにおける引用② ・関連資料や文献などからの具体的な引用の仕方について、AL①とAL②を行う。 ・準備学習：前回の学習内容を復習する。 ・課題：長い文章を要約する練習として、要約文を作成する。（AL③）
	24	聴解練習 ・中級～上級レベルの長文を聞いて内容を理解するため、AL①とAL②を行う。 ・準備学習：事前に告知する聴解練習のトピックについて調べておく。 ・課題：聴解練習のスクリプトを確認する。（AL③）
	25	レポートに使われる文体・文法の復習 ・レポート作成に使われる文体・文法のうち必要と思われる事項について復習し、AL①とAL②を行う。 ・準備学習：テキスト第Ⅰ部１～３課を復習しておく。 ・課題：レポート作成に使われる文体・文法の練習問題。（AL③）
	26	レポートの作成① ・レポートの目的・構成・作成について、AL①とAL②を行う。 ・準備学習：テキスト第Ⅱ部第11課を読み、語彙の意味を確認する。 ・課題：テーマを選び、知りたいこと・必要な資料を考え、アウトラインを作成する。（AL③）
	27	レポートの作成②（アウトラインのチェック） ・提出されたアウトラインの確認と修正、レポート例を読んで、AL①を行う。 ・準備学習：アウトラインを作成して提出する。 ・課題：確認・修正後のアウトラインにそってレポートを作成する。（AL③） ・重要：レポートを作成し、期日までに提出する。

	28　まとめテスト④、グループ活動 ・レポート作成に必要な文法事項についてテストを行う。ディベートやアンケート作成などのグループ 　活動でAL⑤とAL⑥を行う。 ・準備学習：第25回で学習したことを復習しておく。 ・課題：レポートの作成。（AL③） 29　レポートの提出と修正 ・提出したレポートの確認と修正について、AL①を行う。 ・準備学習：レポートを作成し、期日までに提出する。 ・課題：必要に応じ、レポートの内容を見直し、文法・表現などの間違いを訂正する。（AL③） 30　レポートについて発表 ・レポートの内容について各自5～10分程度で発表し、AL①を行う。 ・準備学習：発表に必要な資料を準備する。 ・課題：発表内容についてお互いに評価、質疑応答を行う。（AL⑤とAL⑥）
授業形態	教科書を用いた講義と演習 アクティブラーニング：①:28回,②24回,③:27回,④:0回,⑤3回,⑥:3回
達成目標	1.レポート・論文の理解及び作成に必要な論理的な思考方法を身につける。（基礎） 2.論理的な文章の展開方法を学び、それを意識した文章の構成が考えられる。（基礎） 3.レポート・論文の作成に必要な語彙・文法・読解・作文の力を習得する。（基礎） 4.学習した内容を踏まえて、レポートを作成することができる。（標準） 5.資料を適切に利用して、客観的なレポートを書くことができる。（応用） 6.自分の意見をまとめて、わかりやすく発表することができる。（応用）
評価方法・フィードバック	毎回の授業で提出する課題（20%）、まとめテスト4回（30%）、スピーチ・レポートの発表及び授業での取り組み（20%）、レポート評価（30%）で評価する。提出された課題・レポートについては毎回採点後返却し、結果をフィードバックする。また必要な場合は再提出を求める。
評価基準	秀(1～6)：90点以上、優(1～5)：89～80点、良(1～4)：79～70点、可(1～3)：69～60点、不可：59点以下 ただし（　）内は、達成目標の項目を示す。
教科書・参考書	教科書：『新訂版 留学生のための論理的な文章の書き方』株式会社スリーエーネットワーク
履修条件	在留資格「留学」を有する者であらかじめ指定された者は、文章表現法に代わりこの科目を受講すること。
履修上の注意	講義には必ず出席すること。課題・レポートは必ず期限までに提出すること。
準備学習と課題の内容	・授業計画に記載されている「準備学習」の内容（1.5時間）を必ず行うこと。 ・授業計画に記載されている「課題」の内容（1.5時間）を必ず行うこと。「課題」は次回までに提出すること。 ・提出する課題・レポートは文体・文字数・枚数などの指示を守ること。
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:25%,思考・判断:25%,関心･意欲:15%,態度:10%,技能・表現:25%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	

Ⅱ類（学部共通専門基礎科目）